

日本共産党えんど久子市議 6月市議会で質問

# 国保税の大幅値上げで悲鳴

国民健康保険税の納税通知書が届き、大幅に上がった国保税に悲鳴が上がっています。市役所保険年金課には苦情が殺到。3月議会でこの値上げに反対したのは、日本共産党市議団3名を含む4名だけでした。猿渡（えんど）久子市議は、11日の一般質問で市民の現状を訴え、減免制度実現と国保税の値下げを強く要求しました。

5〜6世帯に1世帯は  
普通の保険証がない

えんど久子市議の質問に今年5月末の状況について「国保世帯数2万3692世帯のうち1年間の保険証が1万9311世帯、短期保険証が2115世帯、資格証が230世帯、その他未更新が2036世帯」と答弁。有効期限1年の通常の保険証を持つ世帯は国保世帯



所得の5分の1以上の国保税  
生活できると思うのか

えんど市議は4〜5割の値上げに「『こんなに上がったら払えない』と声が上がっている。そもそも国の負担率を下げたことが原因。国の負担を増やすよう働きかけよ」と質問。

担当課長は答弁の中で「国保税は医療費の支払いにあてる目的税で一定の負担はやむを得ないのではないか」と述べました。えんど市議は「やむをえないと言うが、年間所得300万の4人世帯で63万4000円の国保税になる。所得の5分の1以上もの国保税は負担能力を明らかに超えている。これで生活できると思うのか」と迫りました。

国保税の負担を軽くすべき

えんど市議は「失業等で収入が激減した世帯などのため減免制度が必要。一般会計からの繰り入れを増やし、国保税の値下げをすべき」と強く求めました。市は「独自減免は慎重にせざるをえない。繰り入れを増やすかどうかは、制度改正の影響や医療費の動向などを検証した上で協議したい」との答弁でした。世論をひろげ、ぜひ実現させましょう。



日本共産党 別府市議団  
**げんきニュース**

発行責任者 平野文活  
別府市石垣西8-2-31  
TEL0977-22-6576

No.345  
2008.6.17.

えんど久子市議の質問で明らかに

# 同和対策 住宅資金貸し付け

# 8割にげ付き

日本共産党議員団の猿渡（えんど）久子市議は、11日の一般質問で、30年ほど前に貸し付けた同和对策事業の住宅新築資金などについて質問しました。日本共産党は、一貫して不正な同和行政を正すよう求めてきました。

## 2億6000万返済滞納

えんど市議の質問への  
答弁で住宅新築資金の現  
状が明らかになりました。  
42名に74件2億7  
286万円を貸し付けま  
したが、完納は5名のみ。  
37名65件、約2億6  
050万円、80%が滞  
納のまま。02年以降は  
返済がありません。

## 貸したときが問題

しかも、家を建てるた  
めに借りたはずなのに、  
42名中37名が不動産  
がないというのです。行  
方不明者や死亡者も多く、  
このままでは返済の見通  
しもありません。

解決を」と質問。「償還  
推進に対し国や県・弁護  
士と対応策を協議したい」  
と市長答弁がありました。

えんど久子市議は「も  
ともと実態がないケース  
が多かったのでは。貸し  
た時点が問題だ。全国的  
な問題で国や県と協議し



## 33年間で 3億4000万の補助金

また、2つの運動団体へ  
の補助金の合計は33年間  
で約3億4000万円に上  
ることや、毎年45冊54  
万円の雑誌「部落解放」を  
公費購入していることがわ  
かりました。

和会の昨年の会費等は25  
万2000円。市からの補  
助金は280万。子ども会  
連合会補助金への18万円  
と比べても不公平であり、  
同和運動団体への補助金は  
廃止すべき。雑誌の公費購  
入もやめるべき」と要求。

## 不公正な行政を正すべき

担当部長は「今後も同和  
問題解決のため必要な事業  
を実施するとともに団体補  
助金、雑誌購入の見直しの  
協議をおこないたい」と答  
弁しました。

えんど久子市議は、「差  
別をなくすべき部署であり、  
女性差別や障害者差別など  
の問題と比べ不公正な行政  
は正すべき」と重ねて求め  
ました。

